

10/11

(日)

14:00

宝生会  
月並能

宝生会の月例能として始まった演能会で、中堅以上の能楽師の厳しい技能の鍛錬の場です。

三山 みつやま

14:00- (80)

シテ 金井 雄資

ツレ 野月 聡  
ワキ 則久 英志  
間 大藏彌太郎笛 梶宅 聡  
小鼓 幸 信吾  
大鼓 柿原 崇志

「うわなり打ちの能と言えますが『葵上』や『鉄輪』と比べ静かな展開です。しかし、愛を失い入水し果てた女性の恨みに差などあろう筈がありません。死してなお失せぬ妄執の強さも然りかと思います」

(かない ゆうすけ)昭和34年生まれ、シテ方宝生流金井章の長男。18代宗家宝生英雄に師事。昭和41年初舞台「鞍馬天狗」花見、昭和53年初シテ「禪師曾我」。これまでに「乱 和合」「道成寺」「石橋 連獅子」「翁」「望月」「隅田川」「景清」を抜く。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財総合指定保持者。同門会「紫雲会」「紫影会」「かたばみ会」を主宰。



桂と桜の枝を打ち合わせる  
美しい女の嫉妬

『万葉集』に見える男女の三角関係を題材に、うわなり打ちの風習を加味した作品。若い桜子に男の心を奪われた桂子の恨みを優美に描く。

狂言「磁石」 大藏吉次郎

15:20-

昭君 しょうくん

16:05- (70)

シテ 佐野 由於

子方 稲田 海音  
ツレ 佐野 玄宜  
ワキ 森 常好  
間 善竹 十郎笛 小野寺竜一  
小鼓 鶴澤洋太郎  
大鼓 柿原 光博  
太鼓 徳田 宗久

「シテは前半が昭君の父、後半は夫の韓耶将(胡王)。後半は昭君の母だけが残し韓耶将と問答を交わす面白い演出。前回演じた時とどう変わったのか自身を見つめる良い機会と思っています」

(さの よしお)昭和29年生まれ、シテ方宝生流佐野正治の長男。17代宗家宝生九郎に入門。18代宗家宝生英雄に師事。昭和33年初舞台「鞍馬天狗」花見、昭和49年初シテ「殺生石」。これまでに「道成寺」「石橋」「乱」「翁」などを抜く。重要無形文化財総合指定保持者。現在、公益社団法人宝生会理事、公益社団法人金沢能楽会理事等を務める。



愛する娘昭君を写す鏡を見て  
嘆く老父母

前半は娘昭君を韓耶将(胡王)に贈られ、残された老父母の悲しみをしみじみと見せる。後半では胡王の猛々しい姿を一人のシテが演じる。